

# シンガポール航空 (SIAL)

収益回復を受けて社債期限前償還など財務改善。年末ホリデー旅行シーズンに向けて日本など東アジアの需要に期待  
 シンガポール | 旅客航空 | 業績フォロー

**フィリップ証券株式会社**

BLOOMBERG SIA:SP | REUTERS SIAL.SI

- 2023/3期2Q (7-9月) は、新型コロナ国境規制緩和の緩和に伴い総収益が前年同期比2.9倍、純利益が黒字転換。前四半期比も増収増益。
- 収益回復を受けて復配。2020年発行の10年物転換社債型新株予約権付き社債35億SGDの年内での期限前償還予定など財務改善の見通し。
- 年末ホリデー旅行シーズンに向け、遅れて国境規制緩和の東アジアの需要回復に期待。11月に北海道への直行便と台北経由便が運航予定。

## What is the news?

11/4発表の2023/3期2Q (7-9月) は、総収益が前年同期比2.9倍の44.88億SGD、総支出が同2.0倍の38.10億SGD、純利益が前年同期の▲4.27億SGDから5.56億SGDへ黒字転換。政府により今年4月に新型コロナワクチン接種済み乗客への規制が完全解除されたことを受け、シンガポール発着国際線需要が大幅に回復。燃料費高騰による費用増を吸収した。旅客輸送容量(総座席数×輸送距離キロ)当たり収入(RASK)が同3.4倍の10.3セント(SG)、乗客有償座席利用率(ロードファクター)が同4.6倍の86.6%。RASK、ロードファクターともに新型コロナ前の3年前同期の7.5セント(SG)、82.4%を超えて四半期で史上最高を記録した。前四半期比も、総収益が14.3%増、純利益が50.2%増と堅調に推移した。

売上高の主な構成項目は以下の通り。①旅客輸送収入は前年同期比7.6倍の33.03億SGD。②貨物輸送収入は同0.4%増の10.03億SGD。

事業セグメント別の営業利益は以下の通り。①シンガポール航空とシルクエアから構成されるフルサービス・キャリアは前年同期の▲2.33億SGDから6.84億SGDへ黒字転換。②スクートが担う格安航空事業は前年同期の▲1.03億SGDから11.7百万SGDへ黒字転換。③上場子会社SIAエンジニアリングが担うMRO(メンテナンス・修理・オーバーホール)事業は前年同期の▲3.8百万SGDから▲6.8百万SGDへ赤字幅拡大だった。

## How do we view this?

同社は収益回復を受けて、2020年に発行した10年物転換社債型新株予約権付き社債35億SGDを12月上旬に期限前償還を行うほか、21年発行の社債についても一部を繰上げ償還する予定。配当も中間で12セント(SG)と復配。営業活動キャッシュフローとリース負債払戻しから先渡し販売の前受け分を除く「営業キャッシュ余剰」の1H(4-9月)も前年同期の▲26.20億USDから25.14億USDへ黒字転換と、財務の改善が急速に進んでいる。

3Q(10-12月)は、世界経済および消費者需要の減速に伴って貨物輸送需要の減退が想定される一方、年末のホリデー旅行シーズンのピークに向けて、日本、香港、台湾など遅れて国境を跨ぐ行動規制を緩和した東アジアの旅客需要拡大が見込まれる。11月にはスクートが来年2月までの期間限定で、北海道への直行便および台北経由便を運航予定だ。また、年明けの中国旧正月に向けて航空チケット予約の増加も期待される。

## 業績推移

※参考レート 1SGD=104.66円

事業年度	2020/3	2021/3	2022/3	2023/3F	2024/3F
売上高(百万SGD)	15,975	3,815	7,614	16,515	17,744
当期利益(百万SGD)	-212	-4,270	-962	1,344	1,007
EPS(SGD)	-0.13	-1.03	-0.16	0.35	0.29
PER(倍)	-	-	-	15.46	18.66
BPS(SGD)	5.54	5.36	7.55	4.41	4.44
PBR(倍)	0.98	1.01	0.72	1.23	1.22
配当(SGD)	0.06	0.00	0.00	0.12	0.10
配当利回り(%)	1.04	0.00	0.00	2.20	1.90

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(SGD) **0.12** (予想はBloomberg)  
 終値(SGD) **5.41** 2022/11/7

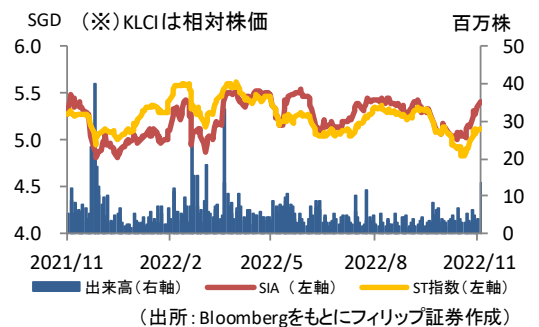
## 会社概要

1947年に「マランエアウェイズ」として創業。その後、1972年にマレーシア航空と分離して設立。同社グループは親航空会社のシンガポール航空、シルクエア、スクート、SIAカーゴ、SIAエンジニアリングで構成される。旅客輸送と貨物輸送を主要な収入源とする。

①親航空会社のシンガポール航空(SIA)は、シンガポール航空ブランドを展開し、旅客にフルサービスの航空輸送を提供する。②子会社のシルクエアは、シルクエアブランドの下、旅客にフルサービスで近距離路線向けの航空輸送を提供している。③格安航空子会社のスクートは2017年にタイガーエアと統合し、スクートブランドで世界60都市以上のネットワークを有する。④航空貨物輸送を行うSIAカーゴは、国際航空貨物輸送では世界3位を占める。⑤シンガポール取引所に上場する子会社のSIAエンジニアリングは、航空機のメンテナンス、修理、オーバーホール(MRO)の業界リーダーの地位を占め、世界80社以上の航空機のためにMROサービスを提供する。

## 企業データ(2022/11/8)

ベータ値	1.24
時価総額(百万SGD)	15,744
企業価値=EV(百万SGD)	14,064
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	19.8



## 主要株主(2022/11)

1. テマセク・ホールディングス	(%) 55.32
2. VANGUARD GROUP	1.14
3. プラックロック	1.13

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## リサーチ部

笹木 和弘  
 +81 3 3666 6980  
 kazuhito.sasaki@phillip.co.jp



【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。